

能登教区通信

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

このたび、標記通信2017年7月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

教区教化事業のご案内

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・日時 2017年7月15日(土) 午後2時～4時
- ・講師 加藤 彰教 氏(小松教区 林西寺)
- ・講題 地獄は一定すみかぞかし
- ・参加費 500円

◆真宗に学ぶつどい(第3回)◆ 同朋会推進部門

- ・日時 2017年7月20日(木) 午後7時～8時30分
- ・講師 瓜生 崇 氏(京都教区 玄照寺)
- ・テーマ 人はなぜ弔うのか? -真宗の教えと葬儀-
- ・講題 死後の救い、今の救い
- ・参加費 500円
- ・備考 教師陞補第1種認定の講座です。3回全ての出席で受講証を発行します。

◆暁天講座◆ 同朋会推進部門

- ・日時 2017年8月1日(火)～5日(土) 午前5時～6時
- ・講師 1日 矢口 泰淳 氏 (第3浜方組 光念寺)
2日 福谷 祐敬 氏 (第1組 泉福寺)
3日 廣陵 兼充 氏 (第6組 満覚寺)
4日 梯 浄円 氏 (第6組 願行寺)
5日 霊崎 秀史 氏 (第4組 長光寺)
- ・テーマ つながりを生きる
- ・備考 講義後に、軽食(パンと飲み物)をご用意いたします。

◆夏の子どものつどい◆ 青少幼年部門

- ・日時 2017年8月8日(火)午前8時～10日(木)午後3時頃 (二泊三日)
- ・会場 新潟県 居多ヶ浜、池の平青少幼年センター(集合場所:能登教務所)
- ・対象 小学4年生～中学3年生
- ・参加費 12,000円
- ・備考 詳細は同封の案内をご覧ください、7月20日(木)までにお申し込みください。荒天の場合、中止となる場合がございます。ご了承ください。

教化事業・その他行事のご報告

◆第46回教区同朋大会◆総合教化本部



去る6月4日(日)、済美精舎(能登教務所)において545名の参加者のもと第46回能登教区同朋大会が開催された。今回は、能登全域で過疎化が進む中、家族や地域のつながりが希薄になってきている現状を踏まえて、人と人とのつながりを再生することが過疎を超える一つの道となり、またお念仏の教えを次世代につなぐ架け橋となるのではないかと。どのように再生していくのか共に考えていこうとの趣旨で、テーマを「つながりの再生」として開催した。

午前中には、昨年行われた「過疎問題に関するアンケート」について資料を配布するとともに調査報告がなされた。昼食を挟み午後には教区合唱団と参加者による仏教讃歌の合唱、引き続き真城義磨氏を講師に迎え講演を行った。真城氏からは、瀬戸内海の島にある自坊での出来事や過疎の現状、世界中で自己中心的なあり方が広がっていることにも触れて、お念仏の教えをもとにして、あの人たちのように生きたいと思われるような姿を見ることができれば、つながりは広がっていくのではないかとのお話をいただいた。参加者からは「力をいただいた。これまでの視点を変えて今後を考えたい」等の感想があった。

昨年は初の試みとして七尾サンライフプラザを会場に開催した結果、特に設備面で好評だったが、今年は同施設が工事中で、他の会場も宗教行事の不可や飲食が出来ない等日程の都合もあり、会場を済美精舎に戻して行った。当日の参加者アンケートではトイレや音響、駐車場など設備面でのご意見が多数寄せられ、日程や会場について次回への課題となった。(同朋大会実行委員長 佐竹 成 記)

◆大無量寿経講義◆研修部門

去る5月22日(月)と23日(火)の2日間、親鸞仏教センター所長の本多弘之氏を招き、大無量寿経講義が開催され、第18・至心信樂の願 唯除五逆についてご講義いただいた。本多氏は、京都の聞光学舎以外はこの能登教区の大経講義しかされていない。参加者は、2日とも40名を超え、研修室いっぱいであった。特に、女性が6名ということが大変喜ばしいことである。

大経の十八願には「唯除五逆誹謗正法」と書かれている。この唯除の文は、はずすことは出来ないのである。つまり、衆生は罪が重いことを表している。ここをないがしろにしては、念仏者になれないのである。

人間はコンプレックスを持っているので暗くなる。しかし、本願力が光になる。闇の中に光がある。諦めると絶望して暗くなるが、諦らかにみると明るくなれる。生死即涅槃なのであることを、教行信証の信巻を通して、唯除の文の大切を述べられた。



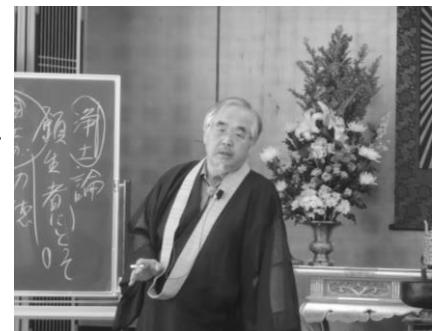
(第11組 蓮聖寺 高名 静啓 記)

◆連続教学講座(第4回)◆研修部門

去る5月25日(木)～26日(金)に能登教務所研修室で第16期の連続教学講座(第4回)が行われた。講師は藤場俊基氏をお迎えし、テキストは「浄土論註」を使用した。

1日目は担当班が勉強会を重ねてきた「廻向門・八番問答」の発題を行い、発題から見えてくるものを先生の示唆を受けながら再検討していった。2日目は新規に受講されている方にもわかりやすいように「浄土論」の構成をもう一度丁寧にお話しいただくとともに、発題についてより深い解説をしていただいた。

皆で改めて一つ一つ確かめながら学んでいくことで捉え方が広がり、より関心をもって聞いていくことができた充実した時間となった。また、今回の講座には受講者全員が出席しており、熱意をもって取り組んでいることが感じられた。



(第13組 妙樂寺 松谷 一峰 記)

◆真宗に学ぶつどい◆同朋会推進部門

去る5月19日(金)に第1回目、6月20日(火)に第2回目の『真宗に学ぶ集い』が開催された。「人はなぜ弔うのか? -真宗の教えと葬儀-」のテーマのもと、講師に京都教区玄照寺住職瓜生崇氏をお迎えし、第1回目は「なぜ葬儀が大事なのか、誰のためになされるのか」、第2回目は「ネットでの僧侶派遣と新宗教の攻勢」の講題でご講義を頂いた。



講師は、自身の父親が最期に投げかけた問いや派遣僧侶として葬儀を執行した経験を踏まえ、「力尽きて死んでいく事実を前にして、人間の言葉ではどうすることもできない時に仏様が寄り添ってくれるのだということを伝えるのが葬儀であり、仏様からの願いを伝えていくのが僧侶の役割」と語られた。また、インターネット派遣会社を核とした葬儀・法要の実態を紹介しつつ、「ネットでの依頼者は決して仏事を軽視していないし、仏教への関心もある」といい、そうしたニーズに応えられない伝統教団側にも問題点があることを指摘された。一方、浄土真宗の門徒が多い地域で新宗教が台頭してきた背景と、僧侶が聞法する姿を見て新宗教から脱会した人の例をあげて、寺に求められているのは「一人でも仏法が伝わる場」としての意義の他にはないと言われた。終始、熱意のこもった講義から、真宗の教えが今広く深く求められていることを実感させられた。

午後7時から午後8時半という時間帯ながら、各回とも約60名の参加があり、様々な立場の幅広い世代の方々が研修室を満場にして講義に耳を傾けた。〈同朋会推進部門 萩原 晃俊 記〉

◆てらカレ部-あみだ食堂-◆時代社会部門

6月6日より「てらカレ部 -あみだ食堂-」が始まった。

孤食の子ども達のことをテレビなどで見聞きするにつけ、不安や悩みなどを語り合える仲間がいない、居場所が無い子どもの存在を考えるようになった。また、七尾市内で中学校の合併が行われることとなり、前の学校では居場所があったのに失ってしまうことも予想された。



そこで、済美精舎を開放し、カレーライスを提供する場を作り、そこで交流をし、閉塞感を感じている人の居場所づくりとして、また色々な人とのつながりが生まれることを願い、「てらカレ部 -あみだ食堂-」を年間通して毎月第1・3火曜日に開催することとなった。

第1回目の6日は子ども達の参加はなかったが、第2回目の20日は、「サッカークラブ前に時間が空いている。」ということで、6名の中学生の参加がありました。参加者の感想は好評で、“おいしかった” “また来たい” といった声が寄せられた。〈時代社会部長 松下 春樹 記〉

今後も継続して開催する予定です。カレー食材、娯楽用品等の提供は随時受け付けますが、必ず事前に教務所にご相談ください。

本山・教区事務についてのご連絡

◇2018年宗務役員の募集について◇

下記の通り募集いたしておりますので、関心のある方は一度教務所までお問い合わせください。

勤務先 真宗大谷派宗務所各部門、東京宗務出張所または教務所、海外開教監督部その他

応募資格 ①18歳～27歳(2018年4月1日現在)で、高等学校卒業または同等以上の学力を有すると認められる者。

※2017年7月10日現在において真宗大谷派の事務嘱託を満2年以上経験しているものに限り34歳(ただし、2018年4月1日現在)までとする。

②真宗大谷派の僧侶または門徒(帰敬式を受式し、所属寺が明確であること)

詳細な募集要項及び応募書類については、宗派ホームページよりダウンロードいただくか、教務所までお問い合わせください。

◇住職就任◇(教区通信6月号 掲載以降)

第1組	慶専寺	谷内 正思	2017年5月28日
第3山方組	徳満寺	日野 靖法	2017年5月28日
第10組	福正寺	信樂 明生	2017年5月28日

◇敬弔◇(教区通信6月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第3山方組	誓傳寺	前住職	東 正憲	2017年5月26日
第10組	巖徳寺	前坊守	秦 法子	2017年6月16日

◇本山経常費完納寺院◇(2017.5.1~5.31迄)

2016年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。
ここにご披露申し上げ、御札に代えさせていただきます。

第1組	極樂寺	第7組	善龍寺
第3浜方組	淨蓮寺 西念寺	第12組	泉福寺
第5組	圓正寺	第13組	改觀寺

◇おすすめ出版物の紹介◇

「すでにこの道あり」2『仏教統一への期待』(講演CD付)

「念仏の教えに徹底するということが、念仏の教えを超えることでなくてはならない。(中略)それを越えさせるはたらきが、念仏の教え、本願の教えでなくてはならぬ」(本文より)。ともに聞いてゆこうと語られる中で「仏教統一への期待」をかけられる金子師。やさしくも力強く語られる声から、私たちの聞法の姿勢が問われます。



《名古屋別院刊／金子大栄 講述／A5判：1,500円》

※「すでにこの道あり」1『浄土』、同3『横超の菩提心』(ともに曾我量深 講述／A5判:1,500円)も発行されています。詳細は、名古屋別院(☎052-331-9578)までお問い合わせください。

※この教区通信は済美精舎ホームページより PDF ファイルでダウンロードすることができます。適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう
能登教区教化スローガン 一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を
済美精舎ホームページアドレス <http://notokyouku.sakura.ne.jp>